

主な内容

浦安アートプロジェクト 「浦安藝大」ほか	7面
平和への願い ほか	8面

発行／浦安市
 所在／〒279-8501 千葉県浦安市
 猫実一丁目1番1号
 編集／企画部広聴広報課
 ☎047・351・1111(代表)
<https://www.city.urayasu.lg.jp>

各記事に掲載しているIDを市ホームページの「広報ページID検索」に入力すると、該当のページが出ます。これにより、記事を探す手間を省けます



夏休みには図書館で

8月になり、夏休みを過ごしている学生の皆さん、宿題や課題でお悩みのことはないですか。図書館では、面白い本を取りそろえているだけでなく、皆さんの宿題などの調べもののお手伝いもできます。暑い夏には、ぜひ、涼しい図書館に遊びにきてください。



第52回 これからの感染症対策



暑い日が続いています。のどが渇く前のこまめな水分補給など熱中症対策をお願いいたします。コロナ禍のこの3年間、生活様式などの変化を余儀なくされ、私たちはこれまでの日常生活や地域経済が盤石ではないということに気付かされました。



これまでも「新型インフルエンザ等対策行動計画」を策定し、新たな感染症の感染拡大に備えていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大は想定を超えるものでした。

市として市民の生命、健康を守るということを最優先に市政運営を行ってきましたが、今後もこのような事態が発生しないとは限らず、コロナ禍で得た知見を基に新たな備えを考えていかなければなりません。

こうした中、今後の市の感染症対策の基本的な考え方を示す「感染症の予防及びまん延の防止に関する基本条例」が6月の定例会において成立し、6月30日より施行されました。

この基本条例は、感染症の発生を災害などと同様の危機管理案件と位置づけ、市の責務や市民、学校、事業者、医師などの役割を明らかにするとともに、すべての者が互いの立場および考えを尊重することなど、感染症の予防やまん延の防止に

関する基本的な理念を定めたものです。

多くの感染症対策は千葉県（保健所）が行いますが、市として何ができるのか、何をすべきか、ということをお知らせしており、当然、国や県との連携も明記しています。

また、三方を水に囲まれている浦安市の特徴的な条項として、感染症法上にはない水害などの災害発生時の防疫活動について規定しています。

今、コロナ禍は感染対策と日常生活の両立という局面に入っていますが、コロナ禍が終息したということではありません。こころと体の相談や後遺症などの必要な情報提供を行う相談窓口として、市では、新型コロナ健康相談ダイヤル（☎047・381・9013）を引き続き開設しています。

将来を予測することは難しいですが、もしもの場合に備え、必要な対策を進めてまいります。

浦安市長 内田 悦嗣

夏休みの自由研究や宿題

の調べもの、お手伝いします!

図書館では、「レファレンスサービス」を行っています。レファレンスサービスとは、身近な疑問の解決や調査・研究に必要な情報や資料を探すお手伝いをする事です。「自由研究のテーマは決めただけ、調べ方が分からない…」「こんなこと、聞いていいのかなあ」という疑問も、お気軽におたずねください。

これまでに寄せられたレファレンス事例

浦安の通りの名称の由来について知りたい

消しゴムで字が消えるのはなぜ?

地球の大きさを最初に測ろうとしたのは誰? など

レファレンス担当からのコメント

中央図書館のレファレンス室では、レファレンス専門の司書が皆さんの疑問解決のお手伝いをしています。

調べものの専門家である司書が、膨大な資料の中から必要なものを探すので、一人ではたどりつくことのできなかつた資料や情報を得ることができるかも…。

「知りたい」「調べたい」ときは、お近くの図書館にぜひご相談ください!



レファレンス室の様子

レファレンスサービスの利用方法

中央図書館・各分館のカウンターに直接おいでください。または、電話、市立図書館ホームページ「Eレファレンス専用フォーム」で受け付けます。詳しくは、市立図書館ホームページ<http://library.city.urayasu.chiba.jp>をご覧ください。

カウンター・電話の受付時間

中央図書館

火～日曜日午前10時～午後5時
※土・日曜日、祝日は午後6時まで
☎352・4646

各分館

火～日曜日午前10時～午後5時
▶高洲 ☎304・0314 ▶当代島 ☎382・1707
▶富岡 ☎352・7180 ▶猫実 ☎351・2659
▶日の出 ☎390・0606 ▶堀江 ☎351・3097
▶美浜 ☎354・0009



児童コーナーで自由研究に関する本を展示中です!

夏の一冊

浦安市の図書館の蔵書数は、同規模の自治体図書館の中でも全国トップクラス。全部で110万冊以上の本があります。夏休みには、一冊手に取ってみませんか? お気に入りの本が見つかるかもしれません。

市長が選んだ一冊

●「銀の匙」、中勘助/著、岩波文庫ほか

夏目漱石の弟子である中勘助の自伝的小説「銀の匙」。病弱な幼少期に薬を飲むために使っていた銀の匙を見つけたことをきっかけに、自らの幼少期、青年期を繊細で清らかな表現で回想していきます。110年以上前に執筆された作品ですが、現代に読んでも色あせない魅力を持った作品です。

司書が選んだ一冊

●「友だち幻想」、菅野仁/著、筑摩書房

友だち100人できるかな?…なんて、人間関係の悩みで疲れている人にとっては難しい話。なぜ私たちは、友だちに対して大きな期待を抱いてしまうのか? 距離の取り方を間違えてしまうのか? 「友だち幻想」からいったん離れ、他者とどう向き合うべきかを著者は読者に問いかけています。

もっといろいろな本を読みたい方は…

●新書からはじめよう! 司書おすすめのU-18ブックガイド

夏休みの読書課題に合わせた、中高生向け新書の展示です。各ジャンルの選書を担当する司書が、おすすめコメントとともに図書を紹介しています。ふだん読むものとは違うジャンルの本も、この機会に挑戦してみませんか。

時 8月1日(火)～30日(水)午前10時～午後8時(土・日曜日、祝日は午後6時まで)

所 中央図書館

中央図書館

夏のおすすめイベント

製本ワークショップ「糸と針を使ってオリジナルミニノートを作ろう」

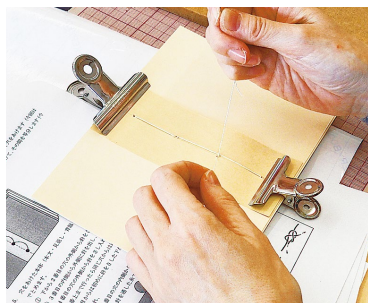
本の構造を学びながら、好きな柄の包装紙を使ってオリジナルのミニノートを製作できます。

時 9月3日(日)
午前10時～正午

対象 市内在住・在勤・在学の中学生以上の方、先着12人

申込 8月2日(水)午前10時から、電話で、中央図書館☎352・4646へ

ID 1040018



市制施行40周年記念・中央図書館開館40周年記念図書館講演会

「知っておきたい国際関係～ウクライナ戦争と東アジアの安全保障～」

時 9月17日(日)午後2時～4時

対象 市内在住・在勤・在学の中学生以上の方、先着100人
※保育あり(1歳以上の未就学児、先着5人)

講師 小谷哲男氏(明海大学教授、日本国際問題研究所主任研究員)

申込 8月2日(水)午前10時から、電話で、中央図書館☎352・4646へ、または市立図書館ホームページ<http://library.city.urayasu.chiba.jp>から申し込み

※保育・手話通訳・要約筆記を希望する方は、9月1日(金)までに申し込み

ID 1040014